

議会だより

めあて
目標に向かって
元気にスタート



ふれあいジョギング大会(五個荘地区・1月20日撮影)

Contents

- 12月定例会一般質問..... 2
- 委員会のうごき..... 10
 - 審議議案..... 12

平成20年

第12号

2月10日発行

12月
議会

一般質問

市立病院の充実と整備を

太陽クラブ 鈴村重史

○ 市財政の硬直化が進む中で、市立2病院の効率・効果的な経営基盤の強化策と市内の医療機関との連携は。

○ 医師不足による病院経営は大変厳しい状況にあり、今以上の悪化を防ぐため経営統合も必要で、今後、総務省が示している公立病院改革ガイドライン(案)も視野に検討します。

19年度から市内8病院の連携を図るために、事務長会議を開催していますが、同一圏域での二次救急となるよう努力します。

○ 病院あり方検討会の提言を受けて、病院機能の分担化と医療機関の改革が必要では。

○ 「市立病院整備計画検討チーム」は、2病院の医療体制の確保や経営悪化を防ぐため、医師の集約化や特徴づけた医療

の提供、病院統合、病床数の見直し、医師受け入れの一本化などを検討し、今後は、市民や医師会、病院医療関係者、行政を代表する組織を立ち上げて具体的な計画を立てていきます。

○ 広域行政的な見地から近江八幡市総合医療センターとの関わりは。

○ 人口30万人規模の救命救急センターとして、東近江医療圏における二次医療病院としての役割を担っており、今後ともご努力をいただきたいと願っています。



連携が期待される市内の医療機関

新年度予算編成の考えは

太陽クラブ 石原藤嗣

○ 新年度予算の市税や地方交付税の見通しは。

○ 20年度予算規模は、400億円を目標に編成

し、「歳入に見合う歳出」の原点に戻り、「選択と集中」の徹底による削減に努めます。

市税は19年度当初と比べ、微増の169億円を見込んでいます。地方交付税は国の概算要求時点で前年比4・2%減となり、税収の動向や特別交付税併加算措置の減少等を勘案し、約4億円の減少を見込んでいます。

○ 財政硬直化が進む中で、八日市南小学校の設計監理は、なぜ随意契約とするのか。

○ 設計業者の決定にはプロポーザル方式を用い、当市と設計者とのコラボレーションにより質の高い建築設計になっており、完成に至るまでの工事監理を請け負わせる事が、最も望ましいと考えています。

今後、契約審査委員会で審議いただき決定します。なお、発注者である当市の適正な積算のもとに予定価格を設定して適

切な執行に努めます。

○ 親善交流は民間レベルでの交流を中心とし、公費の予算計上はすべきでないと考えが。

○ 今後の姉妹都市交流は受け入れや派遣など、それぞれの機会において、市民レベルの交流が中心となるよう展開を図っていきます。

また、19年度の中学生海外派遣は、予想以上の成果が得られたことから、新年度においてもこの中学生派遣を中心に市民レベルの交流支援を継続していく考えです。



姉妹都市中国常德市で交流する中学生ら

地球温暖化防止を急げ

東近江市民クラブ 澤田 康弘

〔問〕 地球環境を守るために温暖化防止への当市の取り組みとBDFのPRは。

〔答〕 当市は、「市民の豊かな環境と風土づくり条例」に地球環境の保全を基本施策と位置付け、現在策定中の「環境基本計画」で具体的な取り組みを明らかにします。

市民への温暖化防止の啓発には、グループや事業所などで構成する「さわやか環境づくり協議会」を中心に環境キャラ

バン隊を結成し、市ともに活動しています。

また、マイカーから電車、バス、自転車への転換の呼びかけを広報紙やケーブルテレビ、街頭啓発で行なっています。

BDFのPRは、菜の花館のオープン以来、研修者は全国各地から565団体、市内の小・中学校、自治会107団体あり、また、ちよこつとバス5台の運行には、BDF燃料を使用し、広く情報発信をしています。



BDFの製造体験

今後の通園通学バスのあり方は

東近江市民クラブ 加藤 正明



幼児バスの通園風景

〔問〕 通園・通学バス、通学補助の新基準策定は慎重に。

〔答〕 合併により多くの幼稚園や小・中学校を擁し、通園・通学手段は、それぞれ旧市町ごとに地域の実情、園や学校の統合経緯などに応じて現行の方法となっています。

その結果、スクールバスや路線バス利用、保護者による送迎、徒歩など地域間で大きな違いが生

じています。

このため合併協議の中で基準等を設け、均衡が保てるよう調整することになっています。

今回、幼稚園や学校、PTA、教育委員会および議会などの各代表者で構成する検討委員会を立ち上げたところです。各委員に通園通学の実情と課題を説明し、地域間で不公平とならないよう検討いただき、その答申を受けて教育委員会を考えをまとめていきます。

〔問〕 下水道の水洗化率の向上に努力を。

〔答〕 下水道事業は、水質保全や市民の快適な居住環境を実現するために取り組んできました。

下水道法では、汲み取り式便所を3年以内に水

洗便所に改造するよう義務付けられており、下水道本来の目的を果たすとともに下水道会計の安定のためにも、未水洗化家庭に対し指導をしていきます。

災害時の安否確認名簿は

東近江市民クラブ 前田 清子

〔問〕 災害時の自治会未加入者の安否確認の方法は。

また、安否確認のために自治会での名簿作りが必要では。

〔答〕 自治会や防災関係機関、災害ボランティアなどの協力を得て、迅速な情報収集に努め安全確認を行ないます。

また、安否確認のための名簿は自治会や自主防災組織が災害時に、住民の安否確認に有効であり、相互の信頼関係の中で独自に作成をお願いしています。行政の支援は、資料や情報の提供など、地域の主体的な取り組みを側面から支援します。

〔問〕 ある市の自治会で、緑の募金などの寄付金を自治会費に上乗せして徴収していたことが、違法との高裁判決が出た。当市の対応は。

〔答〕 当市の自治会も同じ方法で徴収している所もありますが、募金や寄付金の趣旨が阻害される徴収方法は避け、個人の自由な意思が反映できる徴収方法を自治会連合会役員会などをお願いしました。

生きがいづくりに活動の場を

東近江市民クラブ 畑 博夫

図 団塊世代の退職後の生きがいづくりにボランティア活動の場を。

行っています。

また、仲間づくりのための講座や教室の参加者が、新たに自分たちでグループをつくり継続して活動していただけているように思っています。

図 退職後の「地域デビュー」をするためのきっかけとなるよう、居場所づくりや仲間づくりの支援に取り組んでおり、市職員にも地域デビューのために各課の事業紹介を

行っています。また、仲間づくりのための講座や教室の参加者が、新たに自分たちでグループをつくり継続して活動していただけているように思っています。



満開を楽しみにサツキの植栽

り、高齢期を元気でいきいきと過ごしていただけるよう支援事業を行っていますと考えています。

図 ライフラインを中心とした埋設管の実態把握と緊急事態への対応、および連絡ネットワークは。

実態把握は、各担当部署で確実に行なっており、上水道本管の耐震などの整備に努めています。

また、市内水道工事協同組合と災害時応急復旧に関する協定を締結しており、さらに同組合は、県内外からの支援が受けられる体制がとられています。

農業用水に関しては、愛知川沿岸土地改良区などで管理されていますが、緊急に早期対応出来るよう指導、啓発を行っています。

災害時の連絡ネットワークは、本庁や支所の職員が直ちに集合して警戒体制をとり、県や指定公共機関のNTTや関西電力と連絡を取り対応します。



改修が望まれる用水路

どうする水不足解消策

東近江市民クラブ 中村 肇

図 国営新愛知川水利事業（永源寺第2ダム）の

取り消しを求める判決が確定した。今後の水不足の解消と水路、施設の老朽化の対応など残された課題の解消は。

図 農業基盤整備の進展や営農形態の変化により、絶対用水量が不足しています。これを解消するため新愛知川水利事業が進められたところですが、いまだ根本解決が図られていない用水不足対策に改めて真剣に取り組む必

要があると考えています。水田農業は当市産業の柱であり農村景観や環境等を含め、多面的機能の維持に大きな役割を果たしており、今後は、国や県、地元農家と十分な調整を図り、一刻も早く水源対策案の具体化を目指す考えです。

また、一層の維持管理費の削減、その他、県の補助率や償還利率の見直し等、あらゆる手段で農家負担を少しでも減らせるよう取り組みます。

図 全国学力・学習状況調査の結果と教育改革が進む中で教育委員会の姿勢は。

図 児童生徒の学力育成は、教師の指導力が重要で、市内の多くの学校は、今日の課題である「国語力向上」を取り上げ、お互いの授業を公開し、批評し合う校内研究を年間を通じて展開しています。

今回の学力調査は、知識や技能を活用、応用する力に課題があると分析しており、明らかにした課題については、今後重点指導として取り組みます。

教育委員会は、新学習指導要領に示された、新たな教育の枠組みや内容に対し、各校、園が着実な教育実践が進められるよう、市独自の新学習指導要領について研修会を開くとともに、各種の調査結果や今日の課題に対応出来るよう教育課程検討委員会を立ち上げ検討していきます。

市民主体の公民館を

東近江市民クラブ 周防清 二

問 八日市地区8公民館のコミュニティセンター化は。

答 八日市地区の公民館は、旧6町と公民館の成り立ちや経緯の違いから、事務事業の内容や管理運営方法が異なっており、社会教育分野の他に自治連合会や各種団体に係る事務等、地域と強いつながりのあるコミュニティ自治機能をもった施設として運営されています。

このような経緯と違いをふまえ、公民館のあり方を検討していますが、「市民が主体となるまちづくり」の拠点施設と考えており、今後は市民の学習機会や社会教育の場という従来の機能に加え、市民活動の拠点、自立的な活動を行う市長部局所管の「コミュニティセンター」をめざすべきと考え、協議を進めています。

問 図書館の休日開館と学校図書への支援は。

答 図書館の利用促進のための改善は重要と考えますが、サービスの質を低下させずに全館を祝日開館するには、交代勤務体制などの課題もあり、選択と集中の中で市民の

利便性向上のために、中心的な図書館だけでも祝日開館できるよう検討を進めます。

また、学校図書館や学級への貸し出し、読書相談や資料の紹介、お話し会開催などの支援を進め、子どもたちが読書の楽しみや調べる力を養うため学校・園との連携を進めます。

どうなる能登川駅東整備

東近江市民クラブ 杉田米男

問 JR能登川駅へのアクセス充実と駅東口周辺整備は。

答 能登川駅東口へのアクセスは、能登川北部線整備とあわせ今年度、都



対向が危険な垣見隧道

市計画道路河曲奥線への調査業務を発注しており、順次整備に向け準備を進めています。

能登川駅東地区に接続する垣見隧道改良事業については調査を実施中です。

現在、能登川地区では、ちよこつとバスの実証運行で駅利用者などの利便性向上に努めています。

駅前の活性化には、能登川商工会が主体となり、19年度駅前の空き店舗を活用した東近江情報発信基地「道しるべ」が開設され、地元商店街の情報提供や東近江市全域の観光情報を提供できるようにしました。

当市を訪れる観光客がこの施設を活用して、観光客と商店街や地元住民との交流の場ができ、駅周辺の活性化につながると思っています。

また、駅南側の空き地を譲り受け、ターミナル機能の充実を図っていきます。

望まれる道路整備

東近江市民クラブ 諏訪一男



迂回路となっている狭い道（林田町地先）

問 県道五個荘八日市線に続く、中小路町から五智町名神高速道路までのバイパス計画は。

答 この区間は、県道五

個荘八日市線が神田町から整備されたことにより、国道421号のバイパス的な迂回路となっています。

現在の道路は住宅が密集し拡幅は困難であり、

愛知川左岸道路も名神高速道路の高架橋下の高さが不足しており、また市道・寺五個荘線もいくつか課題があります。

そのため都市計画道路八日市北部線の県道湖東八日市線から国道307号までの区間の整備が最適と考え、現在、調査委託し準備を行っています。

発達障害の早期発見を

公明党 山田 みを子

問 当市の発達障害の対応は3歳児までで、この時点では発達の遅れが目立たず、保護者も見逃ごしての就学となっている。このため5歳児健診が必要では。

答 4・5歳児は、幼稚園・保育園での集団生活の中で、発達が気になる子どもについて幼児課の指導担当職員と心理判定員が行動観察を行い、保護者や園の先生との話し合いをもって必要に応じ検査を行っています。

さらに、早期発見のため幼・保職員の特別支援教育の研修を定期的に行い、発達相談の充実を図っています。

問 県は財政構造の転換を図るため、「新たな財政構造改革プログラム」を策定し、市町に対する補助金の大幅な削減を提示しているが、このことについて、当市は県にと

のような申し入れをするのか。

また、当市の乳幼児無料化も19年10月からスタートしたが、今後も無料化の継続はできるのか。

答 この財政改革の影響は早くから危機感を持っており、8月、県に対しての政策提案の席上で削減分を市に転嫁しないよう申し入れをし、その後も市長会等を通じて再

三、要望を続けています。

これは、当市だけでなく県下の市町すべてに影響を及ぼすため、市長会、市議会議長会など地方4団体や各種協議会等を通じ、再度、検討するよう申し入れを行っています。

乳幼児の医療費無料化は、子育て支援策として続けていきたいと思っていますが、財政的に今後大きな影響を及ぼすことから今しばらくは県の動向を見守り、持続が可能な検討していきます。



乳幼児の歯科検診

外環状線の完成見通しは

緑の市民クラブ 横山 榮吉

問 国道421号より先の外環状線の進め方と、旧八日市市の自転車道路の整備と管理は。

答 国道421号から通称ひばり通り間の用地取得は約50%完了し、さらに用地交渉を進めながら20年度に八日市南高校までの暫定工事を進め、23年度計画区間の完了に向け鋭意努力しています。

大風通りから近江八幡方面へは、県道路アクションプログラムの動向を見極めながら進めたいと考えています。

なお、自転車道路は定期的なパトロールと損傷部分の補修を行なっており、「自転車都市宣言」の理念を継承し、今後も市民の協力を得て維持管理に努めていきます。



外環状線の東本町地先

農業者にきめ細かな支援を

緑の市民クラブ 井上 喜久男

問 品目横断的経営安定対策の集落への支援継続と取り組み困難な集落、農業者に対する支援策は。

答 認定農業者や集落営農組織としての特定農業団体と同要件を満たす組織の育成等、きめ細かな相談体制で、より一層支援して事業の推進に努めます。

取り組み困難な集落や個人農業者へは、要件を

問 上平木町土地改良事業の今後の進捗状況は。

答 9月議会後、当事者間での十分な話し合いにより、改めて同意を得ていただくよう土地改良区を指導し、臨時総会では再計画の承認がされました。

なお、未同意の地主との経緯については、司法の判断に委ねられています。

満たせるために各地域、集落にあった農業に主体的に取り組めるよう支援します。

国は、面積要件の緩和やソバ、ナタネ等の対象作物の拡大、ならし対策・加入特例の充実や「知事特認」の権限を市町村地域水田農業推進協議会に委譲するなどの見直しを検討されています。

かかりつけ医やクリニカルパスの制度は

緑の市民クラブ 西澤 善三

図 かかりつけ医制度の推進や、症状に応じた適切な医療が受けられるように、よろず相談室の設置やクリニカルパス制度などの取り組みは。

図 かかりつけ医の重要性は十分認識しており、相談業務は各々の施設で独自に行っています。

今後、総合的に相談できる医療ソーシャルワーカーの設置を研究します。開放型病床は積極的に取り組み、クリニカルパスは脳梗塞に限定して、病院や診療所、介護施設

などの連携による研究会が進んでおり実施できる予定です。今後は、他の疾患にも導入していきま

す。トリアージは、現在、看護師の判断で行っていますが、今後、院内でのチェックリストを検討します。

「クリニカルパス」

主に入院時、患者に手渡される治療に必要な検査やケアなどを記した診療スケジュール表のこと。

生かされるのか全国学力調査

緑の市民クラブ 西村 武一

図 19年4月実施の全国学力・学習状況調査結果が10月に公表された。これを受け、市内小中学校での検証と市独自の結果分析を教育現場で生かす工夫は。

また、調査結果の保護者への説明は。

図 市教育委員会では結果の検証委員会を設置して、分析・検証し、教科指導の見直しを含めて授業改善の研修に取り組み

ます。
市の分析・検証結果は
2学期末の保護者会でお
渡しする予定です。

秋まつりの今後の運営

緑の市民クラブ 青山 弘男

図 東近江秋まつりにおける駐車場整理と警備体制、バザー出店基準および二五八まつりとの関係は。

また、東近江秋まつりと湖東ふるさとまつりの来年度以降の会場は。

図 湖東会場では、周辺道路での違法駐車が多く、駐車場への案内や誘導ガードマンの配置、人員等が検討課題と考えま

す。模擬店の出店は、各実行委員会の基準で許可さ

れ湖東会場では、170の出店がありました。

二五八まつりとの関係は、各団体から共通経費を負担いただき、その他の経費については二五八まつりの会計から支出されています。

当会場での開催は初めてで駐車場対策やシャトルバスの対応等、課題も多く、来年度以降の取り組みについては、参加団体による反省会の意見を踏まえ会場も含め検討します。



多くの市民でにぎわう秋まつり

公民館とまちづくりのあり方は

緑の市民クラブ 畑 重三



建築がすすむ(仮称)八日市コミュニティセンター

図 市内の各公民館の運営形態が統一されていない中で、生涯学習と地域のまちづくり活動の拠点となる公民館の体制整備は。

図 各地区公民館は、それぞれの特色を生かしつつ旧八日市市の8館は、社会教育分野と地域密着のコミュニティ自治機能を持つ事務と事業を展開しており、旧6町の公民館は、専ら社会教育の交流・学習の施設として運

営しています。

これからの公民館は、社会教育機能を維持しつつ、市民主体の活発な自治活動の拠点となるまちづくりの施設として、コミュニティセンター化を図りたいと考えており、これに基づき条例制定を目指します。

なお現在、旧八日市中央公民館跡地に建設中の建物は、(仮称)八日市コミュニティセンターとして生まれ変わります。

どう考える第2ダム判決

日本共産党議員団 野田 清司

○ 豊かな自然を壊し、費用対効果が問われる第2ダムは「国は地形・地質・経済性の適正な調査

もしない点に瑕疵があり違法」とした判決が確定した。市長の所見と対応は。

○ 最高裁の決定を重く受けとめています。

一方、毎年のように起こる水不足対策については、今後、国・県・地元

○ 観点からの用水確保など具体策を検討します。

○ 水源地支援助策積立金は、農家と自治体に戻させ、第2ダム賦課金は中止を求めるべきでは。

○ 積立金は、市東部の振興策や実施済みの事業

○ 費用負担、および行政と農家、関係市町間の調整などが未済のため、いまま

し検討が必要と考えます。賦課金徴収は、土地



永源寺支所の窓口

改良区の総意で決定されるものと考えます。

○ びわこ空港や新幹線

○ 新駅等も中止が決まり、県民や市民の声が政治を動かしたが、市長の考え

は。

○ 市政は常に市民の目線に立ち、その思いを施策に反映することが基本であり、職員にも申しています。

支所機能の充実を

日本共産党議員団 野村 秀一郎

○ 20年度予算は、「集中改革プラン」に基づき、事務事業の見直しによる統廃合や民間委託、定員

○ 管理等の軽費節減を強固に進めるとしている。これでは支所機能や住民サービス低下となるのでは。

○ 策定済みの「集中改革プラン」に基づき、定員削減や本庁と支所での重複事務、組織、職員管理等の改善が必要で、機能分担を明確にして組織の見直しを行います。

高齢者に無料パスを

日本共産党議員団 豆田 昇一郎

○ ちよこつとバスは、公共交通空白地域の解消として現在、能登川地区で実証運行が実施されているがどのような状況か。

また、全市民的な利用で

65歳以上の高齢者や障がい者には福祉施策としての無料バス発行の考えは。

○ 実証運行では毎月、

除々に利用が増え、自治連合会や各種団体の検討委員会も立ち上げられ、本格運行に向け検証を行っています。

また、無料バス制度の考えはありませんが、障がい者には半額運賃で対応しています。

○ 市内住宅の耐震補強や下水道の水洗化向上のため、中小企業振興策としての住宅リフォーム制度の復活は。

○ 平成15年から2カ年間の経済活性化事業として補助制度を実施していましたが、一定の効果が得られたものと考え事業は終了しました。現在、復活の予算化は予定していません。



ちよこつとバスの実証運行（能登川地区）

市独自の減免制度を

日本共産党議員団 川嶋重剛

○ 平成20年4月から75歳以上の医療保険料が、月額平均6080円と決定され、年金から天引きとなる。天引きされない普通徴収対象者の徴収方法は。

また、滞納の場合、資格証明書の発行は止めるべきであり、市独自の減免制度は。

○ 普通徴収の対象者は、約1300人で、7月から翌年3月まで9回に分けての口座振替や納付書による徴収となります。

社会保険からの加入者は7～9月分は普通徴収となり、本算定後、年金天引き可能者は特別徴収（天引き）となります。

1年以上の滞納者は保険証の交付はされませんが、資格証明書の発行は、機械的に一律の交付でなく様子をみて検討していく考えです。

保険料は、滋賀県広域医療連合で決定されており、市独自の減免制度をつくる考えはありません。

地域医療を守るために

日本共産党議員団 田郷正

○ 国が進めてきた医療施策で医師不足などの医療危機が起こっているが、医師確保や医療費抑制策の転換を国に求めるべきでは。

また、当市の地域医療を守る中長期対策は。

○ 市は、医師確保のため、派遣元の大学医局への要請や近畿・県市長会を通じ国・県へ要望しています。

さらに研修医の受け入れ可能な魅力ある病院づくりに向け検討中です。

また、20年度は薬価が引き下げられ、診療報酬は0・1%引き上げられるようです。

保健、医療、介護などの連携、協力で地域住民

ニーズに応じた一体的な地域包括医療を提供するためにも2市立病院、3診療所の国保直診施設を生かしたいと考えています。

予防接種の無料枠拡大を

日本共産党議員団 藤田淳子

○ 現在、新型Aソ連型インフルエンザが流行している。予防接種は、生活保護受給者のみが、無料であるが、旧能登川町のように住民税非課税世

帯も無料にすべきでは。また、県下の状況は。

○ 高齢者への予防接種は、発病予防、重症化予防に対し一定の有効性が認められています。

住民税非課税世帯は有料ですが、65歳以上のすべての希望者には、接種料4000円の内、1000円を負担していただき、生活保護世帯には無料で受けていただいています。



元気にスポーツを楽しむ高齢者

県下の草津、守山、栗東、湖南、甲賀の5市は、住民税非課税世帯も無料です。

都市計画税の用途は

無会派 寺村義和



道路改良工事がすすむ八日市駅前通り

○ 昭和45年には都市計画税が制定され、現在も徴収しているが、どのような事業に充当されているのか。

また、いつまで課税されるのか。

○ 現在、街路事業では、国道421号から通称ひばり通りまでと、県道彦根八日市甲西線から八日

市高校までの道路工事などに充て、公園事業は布引運動公園、下水道事業では19年度は、9箇所を実施しています。

都市計画税の税率は0・2%ですが、今後事業が継続する限り市民の皆様にご負担いただくこととなります。

委員会のうごき

総務常任委員会

政策を知る機会拡大へ

選挙用ビラの公費負担を可決

当委員会は、12月19・21日に、議案6件および請願1件を審査しました。

条例審議の「公職選挙法改正による市長選挙の選挙運動用ビラの公費負担追加とポスターの限度額を改正」の議案では、委員からビラの内容とマニフェストとの整合性の確認方法や、厳しい財政の折、選挙運動の公費負担は市民感情からも問題であり継続審議にしては、などの意見がありました。

理事者側からは、今回の改正は、有権者に立候補者の政策を知っていたく機会の拡大であり、一定の公費減額も可能との説明がありました。

このほか市職員の育児休業条例の一部改正など6議案を審議し、すべて原案通り可決しました。

また、「景気は回復基調と言われているが、国民の収入は落ち込み、医療・年金・介護の負担は増えている中、消費税が増税されれば貧困と格差が拡大するための増税に反対する」という要旨の

「消費税増税反対の請願」の審議では、「増税ありきで財政支出を見直さないやり方は不適切」。

一方、「消費税は公平公正な税制で、社会保障財源の中核を担う重要な税である」、「抜本的な税制改革が重要であり、税制の喫緊の課題である」などの意見が交わされ、採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

委員長 河並 義一

民生福祉常任委員会

指定管理者制度を導入

永源寺診療所

当委員会は、12月14・17・26日に開催し、一般会計・特別会計の各補正予算5件、条例の一部改正4件、八日市衛生プラントと布引斎苑組合との統合に関する議案3件の計12件の審査を行いました。

一般会計補正予算では、後期高齢者医療事業や通信費の算出根拠、犬

猫等処理業務の手順と範囲、生活保護扶助費の国庫補助率に関する質疑がありました。

また、国民健康保険診療所条例の一部改正は、市全体の地域医療の方向性が示されていない中で、の永源寺診療所に指定管理者制度を導入する経緯について議論が集中しました。



指定管理者制度を導入する永源寺診療所

現在の医師不足の中では新たに県からの医師派遣は望めず、診療所および東部出張診療所の医療を守る立場で指定管理者制度の導入を検討してきましたと説明。

に關しては民生福祉常任委員会、地域医療調査特別委員会に状況等を報告するとのことでした。採決の結果、すべての議案を可決しました。

委員長 大澤 貢

教育子ども未来常任委員会

健やかな育成を

こども条例制定

当委員会は、12月17日こども条例の制定など3件について審議しました。

この条例は、子どもが健やかに育つ環境づくりと子どもを守り育て支援する基盤づくりの実現を総合、継続的に推進する施策の基本事項を定めた



委員からは、この条例と次世代育成行動計画との関係や進行管理、条例普及の方法について等の質問がありました。

条例の周知については、子ども向けパンフレットを作成するとともに、企業へも趣旨の普及に努め、また、行動計画の進行管理は各分野の指導者や団体で協議会を立上げ、子どもの意見も取



東近江市の未来を担う元気いっぱいの子どもたち

り入れながら進めると説明がありました。

一般会計の補正予算審議では、蒲生図書館整備工事の予算内容や児童遊園で修繕が必要な箇所についての状況および対策について質問がありました。

また医学生奨学金貸付条例の一部改正を含め議案3件は、採決の結果、原案通り可決しました。

委員長 杉田 米男

産業建設常任委員会

上水道の新規加入金を統一

家庭用は8万4千円

当委員会は、11月5・14・26日に開催し、農業委員会委員の定数や選挙区の改正、上水道加入金の改定、永源寺温泉施設整備事業について協議を行いました。

12月定例会には、議案9件と請願1件が付託され、18日に審査を行いました。

が確実に見込めることを十分に審査する必要があります。

委員長 田中 信弘

り、現行の貸付要綱は適当であるとして不採択となりました。

なお、他の9議案は採決の結果、すべて原案通り可決しました。

地域医療調査特別委員会

医療体制整備の組織立ち上げ

医療関係者、市民らで

水道事業給水条例の一部改正は、地域ごとに異なっていた上水道の新規加入金の額を統一するもので、20年4月1日から適用されます。(例・口径13ミリの一般家庭用を8万4千円に)

また、「小口簡易資金の充実に関する請願」は、返済期間の延長と融資条件の営業年数の改正を求めるものです。

審議では、本制度は融資が受け易い半面、営業状況や返済能力など償還

11月19日、能登川、蒲生両市立病院長の出席を求め、第6回地域医療調査特別委員会を開催しました。

冒頭、両病院長から世界と日本の医療比較や地方公立病院の医療環境の状況、民間病院との違い、公立病院が果たす役割に

ついて報告を受けました。

続いて当市が取り組んでいる2つの検討チームの活動状況報告があり、今後、医療関係者をはじめ議会、市民や行政の代表者らで組織を立ち上げ、当市の医療体制を整備するための市立病院整備計画を20年の早い段階に得たいとの報告がありました。

主な議論の内容として医師を確保すれば入院、外来患者数は以前の数字に戻るのかという質疑に對し、ある程度、医師が確保できれば以前の数字に戻ると答弁があり、また、医師不足に対する市民の認識は深まったのか。診察時間外に来る患者数は減ったのか、看護師確保のための院内保育の具体策などに関する等の質問や議論がありました。

今後も地域医療調査研究のため委員会審議を継続することを確認し閉会しました。

委員長 西村 武一

市立蒲生病院



市立能登川病院



12月定例会で審議した主な議案など

議案番号	件 名	審議結果
122	平成19年度東近江市一般会計補正予算（第3号）	全員賛成 可決
123	平成19年度東近江市国民健康保険（事業勘定）特別会計補正予算（第1号）	全員賛成 可決
124	平成19年度東近江市介護保険特別会計補正予算（第2号）	全員賛成 可決
125	平成19年度東近江市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	全員賛成 可決
126	平成19年度東近江市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	全員賛成 可決
127	平成19年度東近江市水道事業会計補正予算（第2号）	全員賛成 可決
128	平成19年度東近江市病院事業会計補正予算（第1号）	全員賛成 可決
129	東近江市議会議員及び東近江市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数 可決
130	東近江市職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	全員賛成 可決
131	東近江市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成 可決
132	東近江市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成 可決
133	東近江市八日市ふれあいビレッジ条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成 可決
134	東近江市国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成 可決
135	東近江市病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成 可決
136	東近江市こども条例の制定について	全員賛成 可決
137	東近江市医学生奨学金貸付条例の一部を改正する条例の制定について	全員賛成 可決
138	東近江市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数 可決
139	東近江市農業委員会条例の一部を改正する条例の制定について	賛成多数 可決
140	町(字)の区域及び名称の変更につき議決を求めることについて	全員賛成 可決
141	民事調停の申立てにつき議決を求めることについて	全員賛成 可決
142	市営土地改良事業（農地基盤整備対策事業）平田地区の事業計画の変更につき議決を求めることについて	全員賛成 可決
143	市営土地改良事業（中山間地域総合整備事業）高野地区の事業計画の変更につき議決を求めることについて	全員賛成 可決
144	八日市衛生プラント組合規約の変更につき議決を求めることについて	全員賛成 可決
145	布引斎苑組合の解散につき議決を求めることについて	全員賛成 可決
146	布引斎苑組合の解散に伴う財産処分につき議決を求めることについて	全員賛成 可決
147	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて（百済寺本町：山本 清氏）	全員賛成 可決
148	平成19年度東近江市一般会計補正予算（第4号）	全員賛成 可決
149	「新たな財政構造改革プログラム」に関する意見書	全員賛成 可決
請願第6号	消費税の増税に反対することに関する請願書	賛成少数 不採択
請願第7号	小口簡易資金の充実に関する請願	賛成少数 不採択

※前号の議案第117号 後期高齢者医療制度の実施凍結と見直しを求める意見書の審議結果は「賛成少数 否決」の誤りでした。
お詫びして訂正します。

写真右から 鈴木重史委員、
川嶋重剛委員、周防清二委員長、
山田みを子副委員長、横山榮吉委員、
田中信弘委員、寺村茂和委員



平成18年は「命」、19年は「偽」で表わされる年でした。
命を軽んじ、人や社会を騙す、自分さえ良ければという自己中心主義が蔓延している現代社会です。
一方で、地球に対して私たち人間が自己中心的に振舞っていることを気付くべきでしょう。
今、地球環境や温暖化を真剣に考えなければ、人類の未来は「偽」では済まされなれないと思います。
編集委員も新たな体制で、議会の議論を「真」に、わかり易くお伝えします。

編集後記